

カラー・ビデオサイズ / 1 時間34分

「一緒に死のうか? ジミニー」
「キミって大胆だね」

今関あきよし 監督作品

十六歳のマリンブルー



本城 美智子 原作
「十六歳のマリンブルー」(集英社刊)
第10回すばる文学賞受賞(87年)作品

藤長 野火子 脚本

古谷 玲香

菊池 健一郎

薬丸 裕英

松原 智恵子

佐藤 オリエ

竹内 力

垂 湖

奥村公延

製作・配給 株式会社パル企画

■かいせつ

「いちご族」と呼ばれる10代の若者たち。団塊世代の2世代たちが創り出したライフスタイルは、既成の概念ではとてもらえきれない生き方なのだ。そんな若者たちの人生観や価値観、生活の真実を本城美智子原作の同名小説(第10回すばる文学賞受賞作)をもとに初めて映像化したのが「十六歳のマリンブルー」だ。

今関あきよし監督は23歳のとき、「アイコ十六歳」で鮮烈にデビューした。今、6年の月日を経て、今関ワールドの総決算として臨んだのがこの作品。

主演は新人の古谷玲香、相手役は「ぼくらの7日間戦争」で主演した菊池健一郎。ほかアイドルから脱皮した葉丸裕英、13年ぶりに映画出演した松原智恵子、佐藤オリエ、竹内力、奥村公延らベテラン俳優が脇を固めている。

■ものがたり

えみは江ノ島に住む16歳の女の子。
えみの家族は食品雑貨店を営む母親と、会社員の兄の3人暮らし。父親は3年前に交通事故で死んでしまった。

えみは家の中で、かわいらしく柔順で、愚かで、それでいて目が離せないような「ベツトのような存在」を演じている。母のことも兄のことも嫌いではないが、「養われている」という心苦しさや、えみの心に重くのしかかっている。

えみは女子高の演劇部でシナリオを書いてる。最新作のテーマは男の同性愛。ところが演劇部の女教師に、高校生らしくないという理由でボツにされる。えみは同性愛とか、売春、強姦、自殺というような、母や兄が聞いたら顔をしかめるようなことに興味をもっている。そんなえみでも、男をキチンと好き

になる恋愛の経験はない。「江ノ島という享樂的な土地に育った」わりにえみ自身は翔べない。えみはそんな自分に焦っていた。

何となく絶望――。

夏の終りに、えみは少し憂鬱だった。今年もまた大勢の若者が訪れ、そして去っていった。何人かの男たちはえみに声をかけたが、心ときめくものはなかった。

そんな気分を紛らわすため、夜中にそっと家を抜け出し街を一人でさまよった。タバコやシンナーに手を出し、好きでもない男にキスをさせた。そして毎晩のように「遺書」を書いた。

絶望が続くある日、えみは親友の友子の中学校時代の同級生でジミーと呼ばれる少年・脇坂肇が、岸壁から身を投げる現場を偶然見てしまう。とっさにジミーを助けたえみだが、「自分に他人の自殺を止める権利はない」と思い、謝るためジミーの入院先を訪れる。

えみはジミーのなかに自分と共通する何かを感じてしまう。えみはジミーと話をするうち、恋に似たものを抱くようになっていた。ジミーはかつて明るい成績優秀な少年だったところが両親の離婚をきっかけに、ビデオで自分自身を撮るような、閉鎖的で暗い少年に変わってしまった。

数日後、えみは、偶然街でジミーと出会う。ジミーはえみに、薬局で精神安定剤を買ってきて欲しいと頼む。ジミーは中毒だった。えみはジミーの手を引いて島の奥手、稚児が淵へ出かける。

「ねえ、あの薬2人で飲まない？」
「だめだよ」

ジミーは不愉快そうに拒否するが、えみは強引に薬を飲んだ。2人は心地よいけだるさの中で、たどたどしい愛の言葉を交わした。かすれゆく意識の中で、えみは叫んだ。
「お父さんジミーを連れていかないで……」

■スタッフ

製作……鈴木 ワタル
プロデューサー……山本 文夫
原作……本城 美智子
(集英社刊)

第10回すばる文学賞受賞(87年)作品

脚本……藤長 野火子

監督……今関 あきよし

撮影……喜久村 徳章

美術……春木 章

編集……小林 礼子

装飾……神田 明良

照明……岩崎 豊

録音……沢田 敏春

助監督……片島 章三

製作担当……寺野 伊佐雄

音楽……辻 陽

作詞……古谷 玲香

作曲……小田 啓義

製作・配給……株式会社バル企画

協力……集英社

……田辺音楽出版

……オスカープロモーション

製作協力……(株)東北新社

……日本コロムビア(株)

■キャスト

立林 えみ……………古谷 玲香
脇坂 肇……………菊池 健一郎
立林 邦彦……………葉丸 裕英
立林 佳代……………松原 智恵子
脇坂 道子……………佐藤 オリエ
沖中 浩……………竹内 オリエ
平塚 正子……………亜 湖
九兵衛……………奥村 公延
村井 夕子……………日暮 愛葉
高橋 真澄……………吉田 由美
山岡 あゆみ……………森本 よしえ
原田 隆子……………石川 しのぶ

十六歳のマリンブルー

菊池健一郎&美少女スペシャルロードショー

宮沢りえ 主演・ぼくらの七日間戦争	10:20	1:40	5:00
古谷玲香 主演・十六歳のマリンブルー	12:00	3:20	6:40

7月31日(火)~8月7日(火)

池袋東口 B 文芸坐 ル・ピリエ (971) 3348

特別鑑賞券 1,000円発売中(当日1,200円均一)

初日、監督、出演者の舞台挨拶有り。